

Title : “Intracystic Fat Balls”を伴った卵巣類皮嚢胞腫の1例
A Case of Cystic Ovarian Teratoma with “Intracystic Fat Balls”

Authors : 道野慎太郎・蜂屋 順一・岡田 稔・藤川 隆夫・関 恒明
楠田 順子・水谷 良行・花岡 秀人・横山 健一・吉野 綾子
青木 千夏・似鳥 俊明・高山 誠・古屋 儀郎
杏林大学医学部放射線科 〒181 東京都三鷹市新川6-20-2

Shintaro Douno, Junichi Hachiya, Minoru Okada, Takao Fujikawa,
Tsuneaki Seki, Junko Kusuda, Yoshiyuki Mizutani, Hideto Hanaoka,
Kenichi Yokoyama, Ayako Yoshino, Chinatsu Aoki, Toshiaki Nitatori,
Makoto Takayama, Yoshiro Furuya

Department of Radiology, Kyorin University School of Medicine

Case : 65才 女性

Diagnosis : 卵巣類皮嚢胞腫

Benign Mature Cystic Teratoma of the Ovary

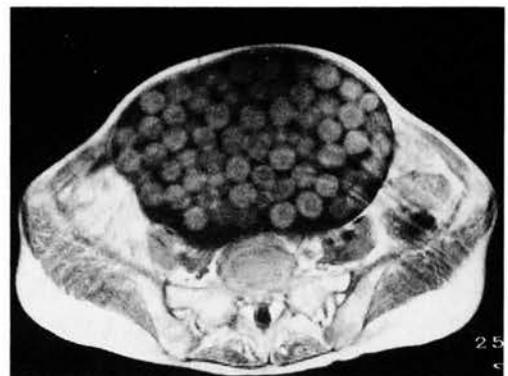
Comments :

下腹部腫瘍にて来院。超音波検査では骨盤内から臍部まで達する cystic mass を認め、内部に円形の hyperechoic な構造が多数存在した。単純 CT (TGP 60. 1) では骨盤内から腎門部のレベルに達する cystic mass を認め、内部に 2 cm ほどの low density を示す円形腫瘍を多数認めた。内部腫瘍の CT 値は平均 - 5 HU 程度で確実に脂肪とは同定できなかった。

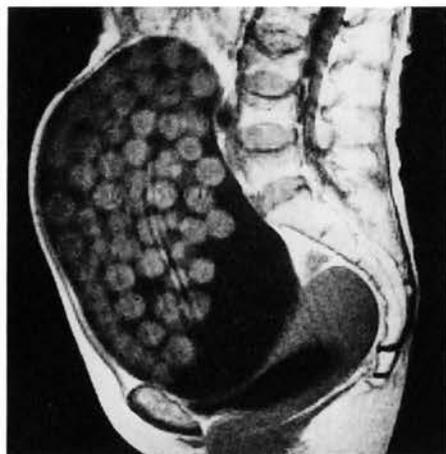
MRI の T1 強調画像 (TGP 60. 2, 3) では、CT で low density を示した多数の内部腫瘍は高信号として描出されており、内容液は膀胱内と同じ低信号を示している。T2 強調画像 (TGP 60. 4, 5) では、T1 強調画像で高信号を呈した内部腫瘍は T2 強調画像でも高信号として描出されている。超音波、CT では内部腫瘍の性状を正確に把握することはできなかったが、MRI により脂肪組織に富むものであることが推測でき、以上より卵巣類皮嚢胞腫と診断した。手術所見では右卵巣に超成人頭大の腫瘍を認め、腫瘍内部に赤褐色の内容液と 1.5cm 程の白黄色の円形腫瘍が多数存在した。内部腫瘍の中心部に 1 本の毛髪を認め、この周囲に脂肪組織が付着し fat ball¹⁾を形成していた。病理組織診断は benign mature cystic teratoma であった。



TGP60.1



TGP60.2



TGP60.3



TGP60.4



TGP60.5

Conclusions :

卵巣類皮嚢胞腫は20~40代の女性に好発する良性腫瘍で、全卵巣腫瘍の20%以上を占める頻度の高い腫瘍である²⁾。嚢胞内に脂肪、毛髪、歯、平滑筋組織、脳組織などの実質成分を含みその割合によりさまざまな画像所見を示すことは²⁾³⁾、既によく知られている。画像診断上のポイントは腫瘤内に脂肪を同定することでそれにはCTおよびMRIが有用であるが、MRIでは脂肪成分をその特徴的な信号強度と chemical shift artifact の存在により容易に同定でき²⁾、また多方向断面を得て子宮、膀胱などの他の骨盤臓器との関係を明らかにするのに優れていると思われる。本症例のような特殊な画像パターンを示す卵巣類皮嚢胞腫は希であり、画像所見、特にMRI所見は intracystic fat balls を伴う卵巣類皮嚢胞腫¹⁾に特徴的なものであった。

References :

- 1) Muramatsu Y, Moriyama N, Takayasu K, et al : CT and MRI imaging of cystic ovarian teratoma with intracystic fat balls. J Comput Assist Tomogr 15 : 528-529, 1991
- 2) 富樫かおり：婦人科疾患のMRI診断 医学書院 1990
- 3) 道野慎太郎, 宮坂康夫：診断のポイントになるCT所見(27), 微量の脂肪成分を有する卵巣腫瘍。画像診断7 : 334, 1987

ダウンロードされた論文は私的利用のみが許諾されています。公衆への再配布については下記をご覧ください。

複写をご希望の方へ

断層映像研究会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です）。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。

直接、断層映像研究会へお問い合わせください

Reprographic Reproduction outside Japan

One of the following procedures is required to copy this work.

1. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has concluded a bilateral agreement with an RRO (Reproduction Rights Organisation), please apply for the license to the RRO.

Please visit the following URL for the countries and regions in which JAACC has concluded bilateral agreements.

<http://www.jaacc.org/>

2. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has no bilateral agreement, please apply for the license to JAACC.

For the license for citation, reprint, and/or translation, etc., please contact the right holder directly.

JAACC (Japan Academic Association for Copyright Clearance) is an official member RRO of the IFRRO (International Federation of Reproduction Rights Organisations).

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619